

## ほんの一瞬の気遣い

始業式の日、体育館に入ってくる2、3年生のみなさんの様子を見ながら本当に驚きました。昨年度まで何度か伝えていた「集会の際の集合を静かに素早くする」ということが実践できていたからです。初日の緊張という側面はあったかと思いますが、それにしてもとても静かで感心しました。今後、1年生と一緒に集会を行う際にも、見本となれるような行動を期待しています。新しい「けやきスタンダード」になると嬉しいなと思います。

また、各クラスでの最初の学活の様子を見に行かせてもらいましたが、どのクラスでも新しい担任の先生と、新しいクラスを作っていく良い雰囲気が見受けられました。3年生の各教室では、3年目の安心感もあり各担任の先生方と早くもリラックスした雰囲気でも気あいあいと学活をしている様子に、少しうらやましくなりました（笑）2年生の教室では、少し緊張しているような雰囲気も感じましたが、新しい学年へのやる気をひしひしと感じました。どのクラスでも今年1年間をよいものにしたいというみなさんの想いが感じられました。その想い、忘れないでくださいね。

みなさんが下校した後は、生徒下足箱を確認しに行きました。担任をしていた時の癖なのですが、上靴が下駄箱の上段に入れられているか確認するためです。私が担任していた時には、口酸っぱく言っても中々定着しなかったのですが、始業式の日から全員の上靴が上段に入っているクラスはないだろうと思っていたのですが、なんと3-2、3-4、2-2、2-3の4クラスが上段に揃っていました。まさか4クラスも揃っているとは本当に驚きでした！

もちろん上靴を上段に入れるというのには意味があります。下段にはふつう外靴を入れますよね。ということは、下段は泥などで汚れやすい場所です。その上に上靴を置けば、外の汚れが上靴についてしまいます。そして、上靴を通して校内に汚れが持ち込まれるわけです。みなさん一人一人は校舎を隅々まで掃除するわけではないですよね。自分以外の誰かが掃除してくれている場所の方が多いわけです。持ち込む汚れを最小限にするということは、その場所を掃除してくれる人に対する気遣いになっているということです。上靴を意識して上段に入れるというのは、ほんの1秒あればできることですよね。ほんの1秒の気遣いを全校生ができるようになれば、それはより居心地のいい学校に近づくということです。ぜひ実践してくださいね。

同じ履物つながりでもう一つ書かせてもらいますね。右の写真を見てどう思いますか？始業式の日、校舎を見て回って撮影してきたものです。次に使う人のことを考えてスリッパを整えるというのは、当たり前のことかもしれませんが、徹底して実践できる人はそれほどいません。けれども、これもほんの一瞬でできる気遣いだと思いませんか？

